

機関及び連携機関

独立行政法人科学技術振興機構
JSTイノベーションプラザ広島
JSTイノベーションブランチ岡山

功労者表彰受賞者

JSTイノベーションプラザ広島 および
JSTイノベーションブランチ岡山 スタッフ一同

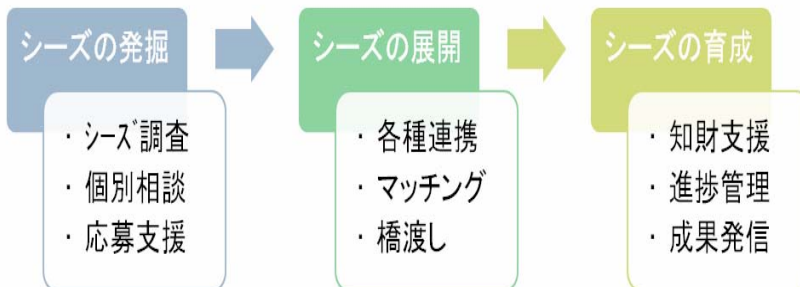
事例の概要

- ◎JSTイノベーションプラザ広島(ブランチ岡山含む。以下同様)は、中国地域5県の大学等研究機関[学]のシーズを起点とした産学官連携によるイノベーション創出を支援する**地域密着型のコーディネート活動**を精力的に実施してきた。
- ◎具体的なコーディネート活動としては、シーズの「発掘」、「展開(マッチング、各種実用化制度への橋渡し)」、「育成」があげられるが、これらについて、**地域関係機関との連携を年々拡充**しながら、きめ細かく推進してきた。
- ◎また、国および配分機関という立場から、特定の組織・団体の利害に縛られることなく、県域を越えた連携やマッチングなど、**組織横断的、地域横断的な活動**にも積極的に取り組んだ。
- ◎特に地域産学官連携を推進するためのJSTの競争的研究資金である「シーズ発掘試験」、「地域ニーズ即応型」、「育成研究」、「研究開発資源活用型」をツールとして活用したプラザスタッフのコーディネート活動により、有望課題に対して、応用研究から事業化開発まで、**シームレスな支援の実現**を図った。

(特筆すべき事項)

- ◆発掘:シーズ発掘に向けた調査、説明会、応募支援等を中国地域各地で精力的かつきめ細かく展開。**プラザ広島オリジナルツール「これはいただき！」によるガイダンスを実施し、申請書作成能力の向上に向けた啓発活動を推進。**
- ◆展開:**(財)ちゅうごく産業創造センター、(財)ひろしま産業振興機構と連携スキームを構築し、「JSTシーズ発掘試験」の有望課題の次フェーズ展開を協働して支援。**
- ◆育成:「育成研究」等の研究開発プロジェクトの課題支援を実施。**実用化、ベンチャー設立、大型プロジェクトへの発展に寄与。**

◆ JSTコーディネータ活動のメインストリーム



事例名：JSTイノベーションプラザ広島による地道なコーディネート活動

具体的成果等

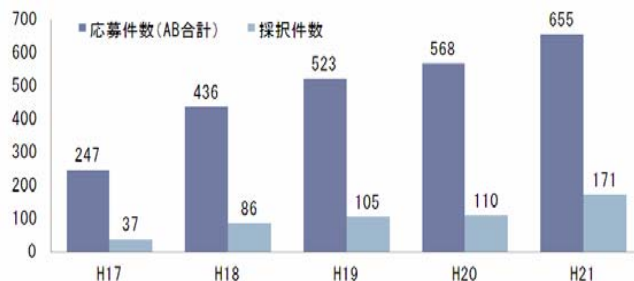
◆ 発掘：有望シーズの掘り起しに向けた取組

- ・JSTプラザ広島は、有望シーズの掘り起しに向けたコーディネート活動(シーズ調査、募集説明会、個別相談会、応募支援等)を中国5県全域において、年々拡充してきた。特に、H21年度JST地域事業の各プログラム募集における説明会・個別相談会の開催回数、参加者数は、全国のJSTプラザ・サテライトの中でトップクラスの実績であるが、単に説明会・個別相談会を開催するのではなく、**プラザ広島オリジナルツール「これはいただき！(書き方事例)」**を活用し、研究者および各機関のコーディネータに対して、申請書作成に当たっての具体的なアドバイスを積極的に行うといった独自の取組みを行っている。
- ・当該ツールは、査読者の評価ポイントを踏まえた申請書作成のコツや事例、提出前の自己チェック方法を掲載したオリジナル小冊子であり、当該啓発活動を通して、各機関のコーディネータとの連携も図りながら、良い課題が正当に評価され、実用化までシームレスに展開できるよう側面支援を図ったものである。
- ・このような活動の結果、また、各研究機関の産学連携部門の積極的な支援もあり、**H21年度における「JSTシーズ発掘試験」の応募件数は同プログラムがスタートしたH17年度と比べ2.5倍以上となり、中国地域における実用化を目指す研究開発の裾野拡大に貢献したといえる。**

○これはいただき！



○JSTシーズ発掘試験の応募・採択件数の推移【中国地域】



◀ JSTシーズ発掘試験の概要 ▶

- 実用化研究の初期段階を支援するシーズの掘り起しのためのプログラム
- 研究費：200万円(A型)、500万円(B型)
- 研究期間：1年
- 大学等の研究者とコーディネータが連名で応募

◆ 展開：有望シーズの次フェーズ展開支援

- ・JSTシーズ発掘試験の終了課題を中心に、JST科学技術コーディネータによるスクリーニング(目利き)を着実にを行い、橋渡しやマッチング等、次フェーズ展開に向けたフォローを**地域の関係機関と連携スキームを確立した上で実施**している。具体的には、(財)ちゅうごく産業創造センターおよび(財)ひろしま産業振興機構といった産業支援機関と連携し、互いのコーディネータが協働して、地域横断的、組織横断的に、シーズ発掘試験の有望課題の次フェーズ展開を支援。

◆ 4つのフィルター(スクリーニング)



| 連携機関 | 連携事業 | 取組内容、成果 |
|---------------|--------------------|--|
| ちゅうごく産業創造センター | 産学官連携新産業創出研究会 | シーズ発掘試験終了後の有望課題を協働して選定し、事業化の視点から課題の解決を図る研究会に橋渡し。H21は5研究会が誕生。 |
| ひろしま産業振興機構 | 技術シーズ発掘事業、特許出願支援事業 | シーズ発掘試験終了課題を中心に協働して、スクリーニングし、マッチング、特許出願支援すべき課題を抽出、支援実施。 |

◆ 育成：有望シーズの実用化に向けた各種支援

- ・JST育成研究等の産学官連携による研究開発プロジェクトをきめ細かく支援した。具体的には、四半期毎の進捗管理、知財・事業化支援、終了プロジェクトの次フェーズ展開支援、成果発信を積極的に実施した。JST育成研究終了課題(17プロジェクト)の主な展開状況は以下の通り。
 - 実用化：5つのプロジェクトで既に実用化
 - ベンチャー：育成研究の成果を活用したベンチャー設立2社(うち1社は本年度中に設立予定)
 - 大型PJへ発展：文科省都市エリア事業、JST研究開発資源活用型、JST戦略的イノベーション創出推進など研究費総額数億クラス的大型PJへ発展し、共同研究企業とともに引き続き実用化に向けた研究を展開中